

「県立高等学校教育推進基本計画（高等学校将来ビジョン）」の概要 ～グローバル社会を生きる多様な高校生のために～

基本計画の目的

グローバル化や高度情報化の進展、産業構造や就業構造の変化、価値観の多様化、地域社会の変容など、私たちの社会はますます急速に変化しており、子どもたちがこれからの社会をたくましく生き抜くために、また、ものづくり愛知の伝統を守り、更に発展させていくために、幅広い知識・教養と柔軟な思考力に基づいて自ら考え行動する力、さらには、他者と協働しながら困難な課題を克服していく力を身に付けさせることが求められています。

また、高等学校進学を目指す多様な生徒に学習の機会を保障することや、安全・安心の観点からこれまで進めてきた耐震対策に加え、学校施設・設備の老朽化対策を推進していくことも必要です。

こうした本県高等学校教育を取りまく諸課題を踏まえて、時代の変化や生徒のニーズを踏まえた高等学校づくりを推進するために、10年後を見据えたグランドデザインとなる「県立高等学校教育推進基本計画」を策定します。

1 グローバル社会で活躍できる人材の育成

(1) 国際理解教育の推進

- 本国及び他国の歴史や文化についての理解を深め、これを尊重する態度を養います。また、グローバル社会の進展、とりわけ多くの外国人が居住する本県の状況を踏まえ、多文化共生社会で求められる強い精神力と、自分とは異なる歴史や文化に立脚する他者に対して共感する力を育成します。
- 生徒が海外の文化に直接触れることができる様々な場をつくり、異文化理解の促進を図るとともに、国際共通語である英語などによるコミュニケーション能力を育成します。

(2) 科学技術人材の育成とICT教育の推進

- グローバルなものづくり産業の集積地である本県では、世界を牽引する科学技術人材を育成することが期待されています。科学技術に興味・関心をもつ生徒の裾野を広げるとともに、生徒が情報や情報手段を主体的に活用する能力を育成します。
- グローバル社会では、これまで以上に論理的に物事を考え、表現することが重要になります。授業において課題探究的な学びを重視したアクティブ・ラーニングを推進し、生徒の論理的な思考力・判断力・表現力を育成します。

(3) 芸術、スポーツなどの分野における個性の伸長

- これからの社会では、様々な分野において子どもたちの活躍の場が世界に広がります。国境を越えて人々を結び付ける力をもつ芸術、スポーツなどの分野の学びを更に充実させるとともに、優れた個性や能力の一層の伸長を図ります。

2 キャリア教育と職業教育の一層の充実

(1) キャリア教育の一層の充実

- 生徒が将来の職業生活について自分自身のビジョンをもつために、体系的・系統的に学習できる教育課程を編成するとともに、義務教育段階での取組も踏まえ、教育活動全体を通じてキャリア教育を推進します。
- 生徒が実社会を自分自身の目で見て、他者の生き方に触れる機会を増やすとともに、様々な人々と関わる経験を積むことにより、コミュニケーション能力を育み、道徳性・社会性の向上を図ることができるよう、インターンシップやボランティア活動などの体験的な活動を推進します。

(2) ものづくり愛知を支える職業教育の一層の充実

- 産業界や国の関係機関、知事部局等との連携を一層密にし、ものづくりをはじめとする本県の様々な分野の産業を担っていく専門的な知識や技術をもつスペシャリストや、地域産業の担い手の育成に努めます。
- 第三次産業の拡大などの産業構造の変化や科学技術の進展等に伴う社会のニーズの変化を踏まえ、職業学科の改編や教育内容の見直しに積極的に取り組みます。

3 魅力ある高等学校教育の基盤づくり

(1) 教員の指導力向上と様々な学びの機会の充実

- ベテラン教員の大量退職を踏まえ、ミドルリーダーを育成していくための研修を充実させるとともに、各学校におけるOJTの一層の充実を図ります。また、民間人材の積極的な活用を推進します。
- 高大連携等の外部機関と連携した魅力ある教育活動を、より幅広くかつ円滑に行える仕組みを構築します。

(2) ICT環境及び安全な施設・設備の充実

- 教育環境の充実のため、ICT環境の整備に努めるなど必要な施設・設備の整備を進めていきます。
- 機能的かつ安全な教育環境は、魅力ある学校づくりの大きな要素です。校舎等の耐震改修完了後、老朽化対策について、早期に将来計画を策定していきます。

4 生徒のニーズを踏まえた様々なタイプの高等学校の配置

(1) 総合学科の新たな設置と普通科の活性化

- 総合学科は、その特色ある教育により、生徒の目的意識や学習意欲が向上するなど、望ましい成果をあげています。県全体のバランスに配慮して更なる設置を進めます。
- 普通科の教育課程の弾力化を進め、各学校の創意工夫を生かした取組を促すとともに、時代の変化や生徒のニーズを踏まえ、普通科コースの改廃や新設を検討します。

(2) 多様な生徒のニーズに応える学校づくり

- 中学校時代に不登校であった生徒など、特別な事情をもつ生徒が自分のペースで学習できる学校づくりを進めます。また、日本語指導を必要とする外国人生徒の学びを支援する体制の一層の充実を図ります。
- 高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒については、「愛知県特別支援教育推進計画(愛知・つながりプラン)」に基づき、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援・指導を行います。
- これまでの連携型中高一貫教育の成果を踏まえ、本県における今後の中高一貫教育のあり方について検討します。

5 生徒が減少する地域における対応

- 生徒が減少する地域については、それぞれの地域の実情を踏まえて、将来的な学校配置の構想を検討します。
- 特に大幅に生徒が減少する東三河地区については、生徒にとって魅力のある学校づくりを一層進めるとともに、これまでに築いてきた山間地域等に根ざした教育活動を支援していきます。また、各学校の学級数の縮減を図りつつ、地域の実情を踏まえて、将来的な学校配置を検討します。

基本計画の計画期間及び進め方等

「県立高等学校教育推進基本計画」は、10年後を見据えた県立高等学校づくりについてのグランドデザインを描いたもので、計画期間を平成27年度から平成36年度までの10年間とします。

計画期間を第1期、第2期に分けて実施計画を策定することとし、第1期実施計画は、平成27年末までに策定します。

第1期実施計画の推進に当たっては、今後の国の動き、学習指導要領の改善の方向、さらには、年度ごとの進捗状況を踏まえつつ、弾力的に計画を遂行していきます。

第1期実施計画の最終年度である平成31年度には、第1期実施計画の成果を検証するとともに、その後の社会の変化や国の動向等も踏まえて、第2期実施計画を策定します。

実施計画の区分	計画期間
第1期実施計画	平成27年度から平成31年度まで
第2期実施計画	平成32年度から平成36年度まで